

みなさん、おはようございます。学長の岩崎行玄です。

ただ今、福井県立大学は、諸君らの入学を許可しました。

私たち教職員一同は、諸君らの入学を心から歓迎します。

「入学おめでとう」

諸君らのスタートを共に祝いたい、との、お気持ちがいっぱいの保護者の皆様には、
COVID-19 感染症対策の完璧を期したいので、誠に申し訳ありませんが、Web でご参加
いただく形とさせていただきます。

この入学式には、本学の設置者であります 杉本 達治 福井県知事と、鈴木 宏紀 福井
県議会議長、河合 永充 永平寺町長を、ご来賓として、お迎えしております。

年度初めの、ご多用の中、ご臨席賜り、本当にありがとうございます。

はじめに、「モチベーション」と「志」について話します。

「大学入試で合格したい」と思う諸君は、やる気がある（モチベーションが高い）とい
う言い方をします。一定の期間、具体的な目標を設定することは、人の成長にきわめて、
効果的です。共通テストで、諸君が努力したこと、両親や進路指導の先生方と話をした

ことは、きわめて重要な実体験です。しかし、目的設定を、入試の可否に限定すると、入学したときに、目的を失います。

一方、日本語では「志」、英語では「ambitious」という言葉が存在します。「志」は、やる気に加えて、社会性を加味した意味を含むと思います。安全安心な食品を提供したい、困っている人を助けたい、よい教師になりたい、などなど。

福井県立大学は、学生諸君の「志」を大切にします。人生、長いです。困ったときの心の支えは、「志」である場合があります。

次に、大学での学びについて、3つお話しします。

まず1つ。皆さんは、大学での学びを、どのようにイメージされていますか？私は、正解が1つとは限らない社会で働くための助走ととらえています。

小中高では、基本を学ぶことが必須です。歴史や先人の発見のエッセンスを学びます。明らかになったことを、学びます。先生方は、教えたことを確認したいので、試験での答えは、1つです。

一方、社会は、常に、複雑です。環境変化は地球規模で考えないといけませんが、各国、解決に際しては、固有のアプローチをとる場合があります。

諸君は、小中高で、答えのある勉強を行ってきて、4年間の大学生活の後、正解が1つとは限らない社会で、生きていくことになります。

このように考えますと、大学は、直面する課題、難題、降ってわいてきた困難、などを深く考え、自分なりの解決策を提案できる力を養う場と思います。

つまり、大学は、小中高の知識を足掛かりに、応用力・知恵を身に着ける場と考えています。

2つ。人間力を向上させてほしい、学びの在り方

福井県立大学でのカリキュラムは、講義と共に、演習、実習、フィールドワーク、インターンシップなどの体験学習を準備しています。体験学習は、ある人は「志を確認する場」であり、ある人は「志を見つける場」です。諸君が、一人ひとり、マッチングしたものを見つけられることを期待します。

多様な課題に柔軟に対処する能力は、頭と体のバランスを必要とし、座学と体験学習の繰り返しで開発されると確信しています。諸君は、ゼミや卒業研究において、答えのない課題・問題に挑戦し、なにがしかの結論を導く経験が、大学生活の醍醐味であると思っています。

3つ。クラブ・サークル、ボランティア活動を奨励する私の思い

スピードスケートのメダリスト、清水宏保さんが言われているお話を一部引用します。

諸君が、クラブ活動等で、活動を始めようになると

目標がはっきりし、自ら、努力することが始まります

同時に、自ら、計画を立てるようになります

思い通りにいかないと、修正を余儀なくされます

先輩、先人、メンターに、改善策を聞くようになります

（ヒトに教えを乞えるようになります）

再び努力し、努力すると、欲が出ます

欲が出ると、粘る（あきらめない）という経験ができます

この繰り返しで、人間力の向上に重要との指摘です。

これは、先ほど述べた、座学と体験学習の繰り返しで、バランスの良い人間形成を目指すことと、きわめてよく似ています。一芸が身を立てるとは、恐らく、「出来上がった一芸」が大切なわけではなく、一芸を求める過程の中で、社会性が身につくこと、粘ることを覚えること、人間力が向上することにあると思います。福井県立大学は、このような意味で、クラブ・サークル、留学、ボランティアなどの社会活動を積極的に支援します。

以上、3つのことを念頭に置き、大学生活をスタートさせましょう。

最後になりますが、令和4年入学式の特別講演は、エバレット・ケネディ・ブラウン先生をお迎えしています。

京都在住のアメリカ人、

湿板光画（しっぱん・こうが）という技法を用いる写真家で、

日本について、驚くべき造詣をお持ちです。日本の文化に関して、きっと、目からうろこのお話を聞けると思います。

彼がアメリカ人であることを意識して、日本の、そして福井の文化について、極めて深いお話を聞けるのは、とても貴重な経験となるでしょう。

入学のお祝いとして、諸君の視野の開花を期待して、記念講演を開きます。

楽しんでいただければ幸いです。

以上で、祝辞といたします。

2022年4月7日

学長 岩崎行玄